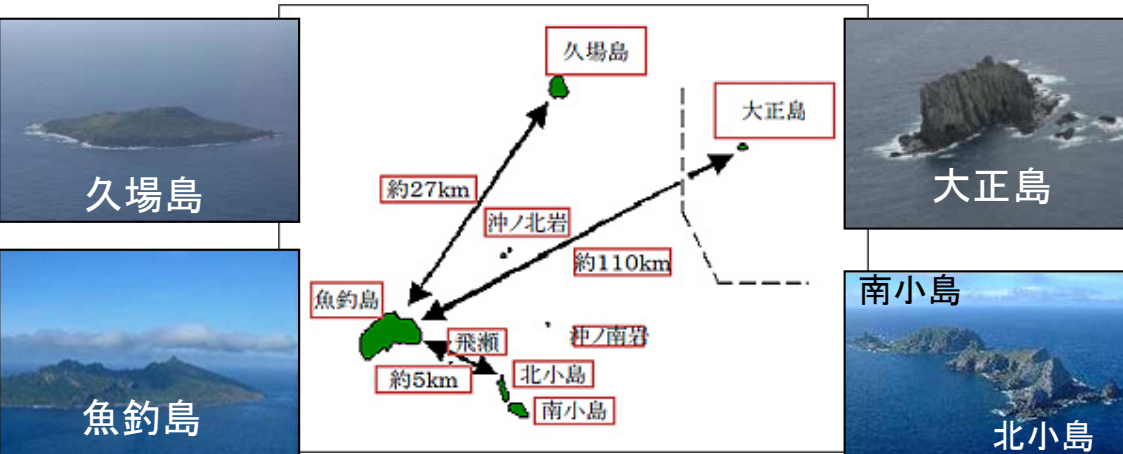
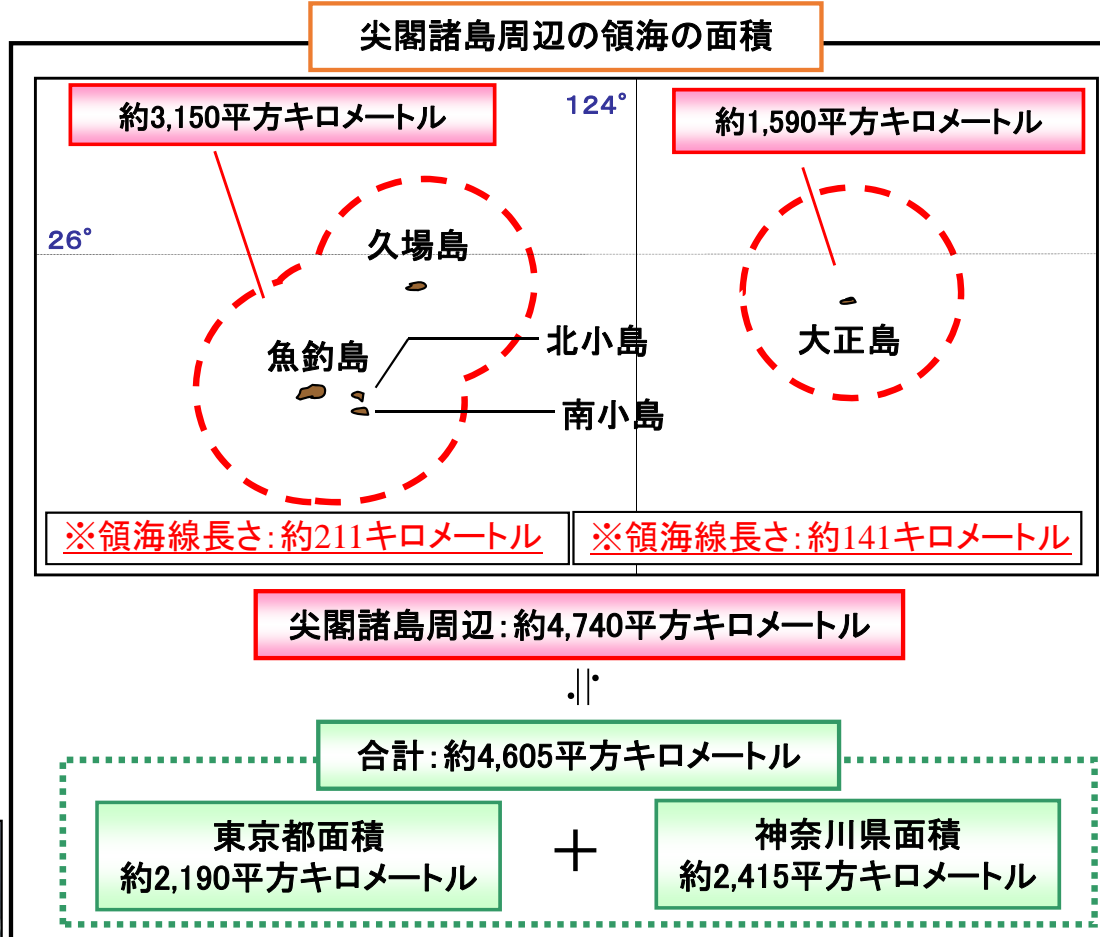
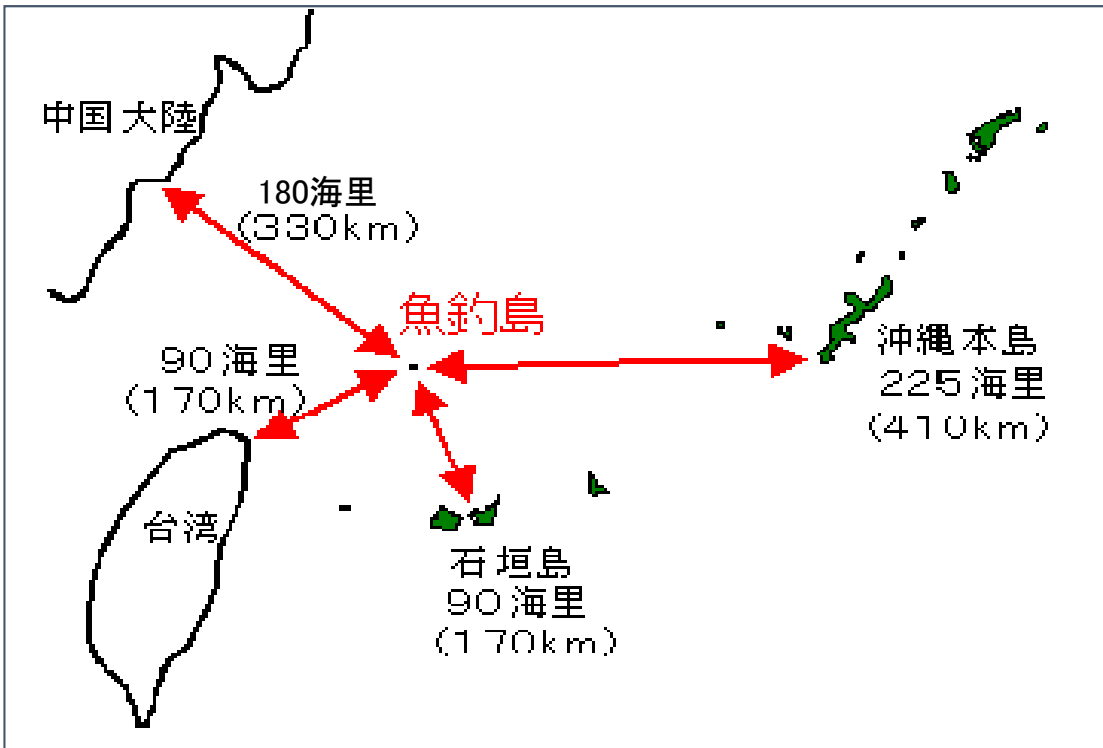


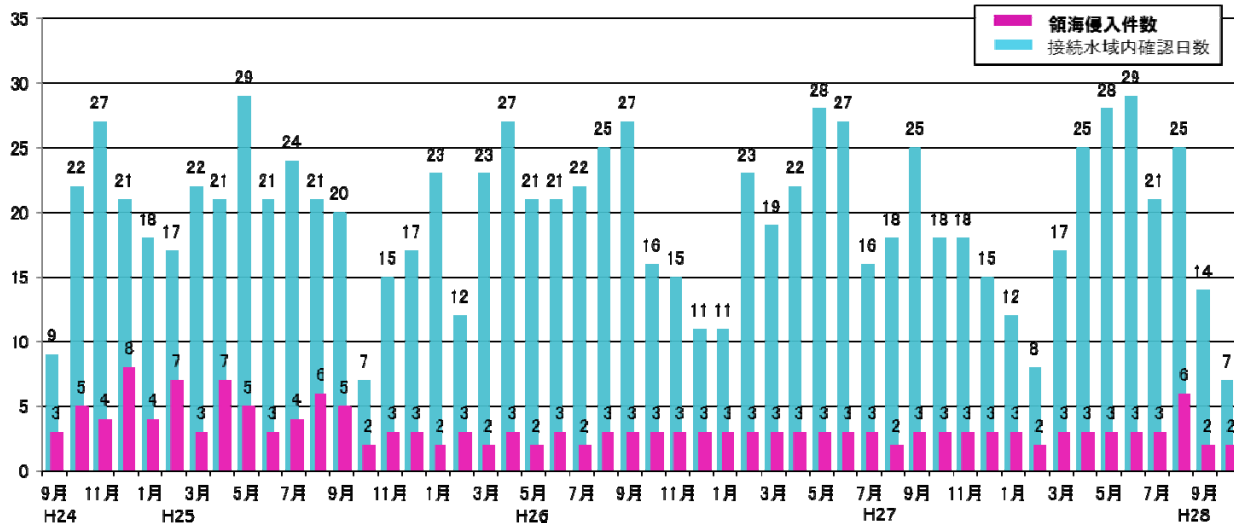
- 尖閣諸島とは、魚釣島、北・南小島、久場島、大正島、沖ノ北岩、沖ノ南岩、飛瀬などから成る島々の総称
- 尖閣諸島の長期にわたる平穏かつ安定的な維持及び管理を図るため、平成24年9月11日、海上保安庁が尖閣諸島の魚釣島、北小島、南小島の三島を取得・保有



名称	所有者	その他
魚釣島	国(海上保安庁)	行政財産
北小島	国(海上保安庁)	行政財産
南小島	国(海上保安庁)	行政財産
久場島	民間	防衛省賃借(米軍射爆場)
大正島	国(財務省)	普通財産(米軍射爆場)
沖ノ北岩	国(財務省)	普通財産
沖ノ南岩	国(財務省)	普通財産
飛瀬	国(財務省)	普通財産

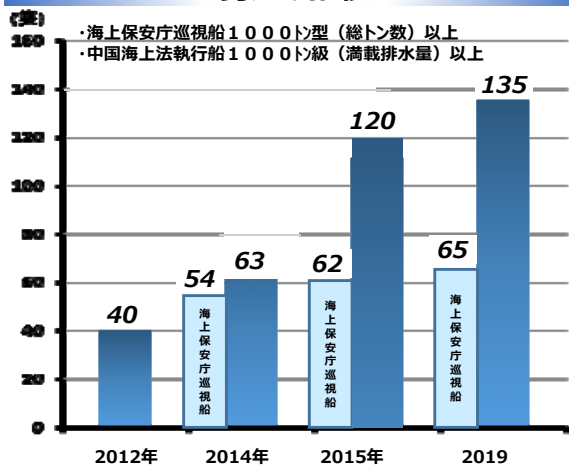
中国公船の増強・大型化・武装化

【平成28年10月26日0800時点】（尖閣三島の取得・保有以降）



◎ 中国公船の勢力増強

勢力の推移



◎ 中国公船の大型化・武装化



大口径の砲を装備した1万トン級中国公船



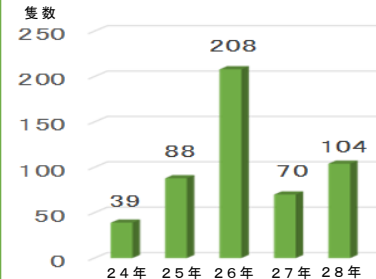
機関砲のようなものを搭載した中国公船

大量の中国漁船の出現等

【平成28年10月26日0800時点】

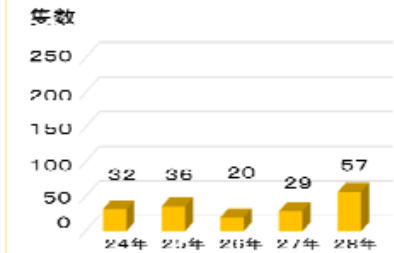
退去警告隻数（中国漁船）

◇平成28年は、既に昨年を上回っており、中国漁船の動静は引き続き予断を許さない状況



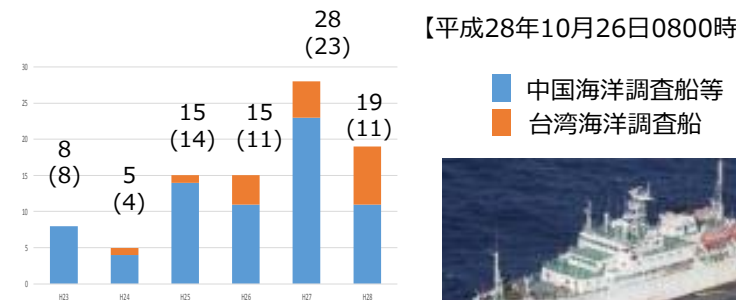
退去警告隻数（台湾漁船）

◇台湾漁船の動静は引き続き予断を許さない状況



中国海洋調査船による海洋調査

【平成28年10月26日0800時点】

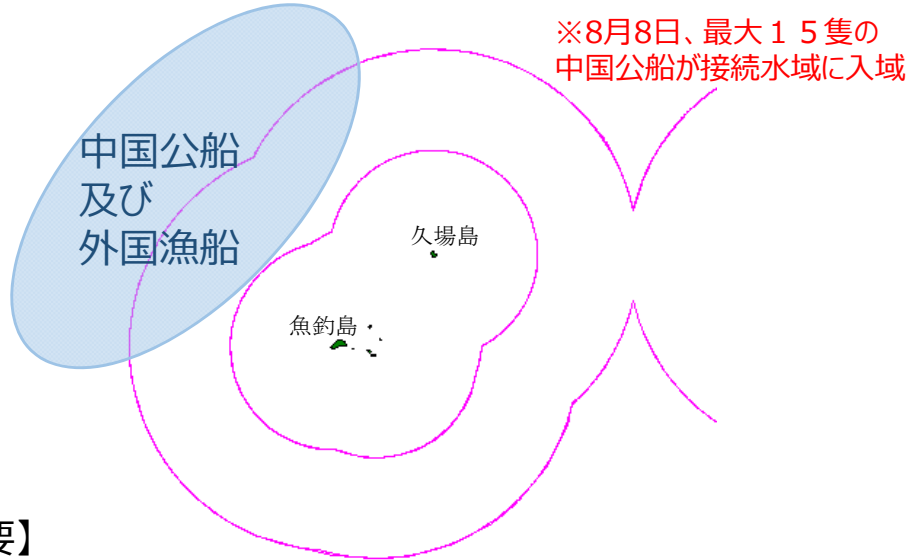


海洋調査船による我が国の同意を得ない海洋調査件数

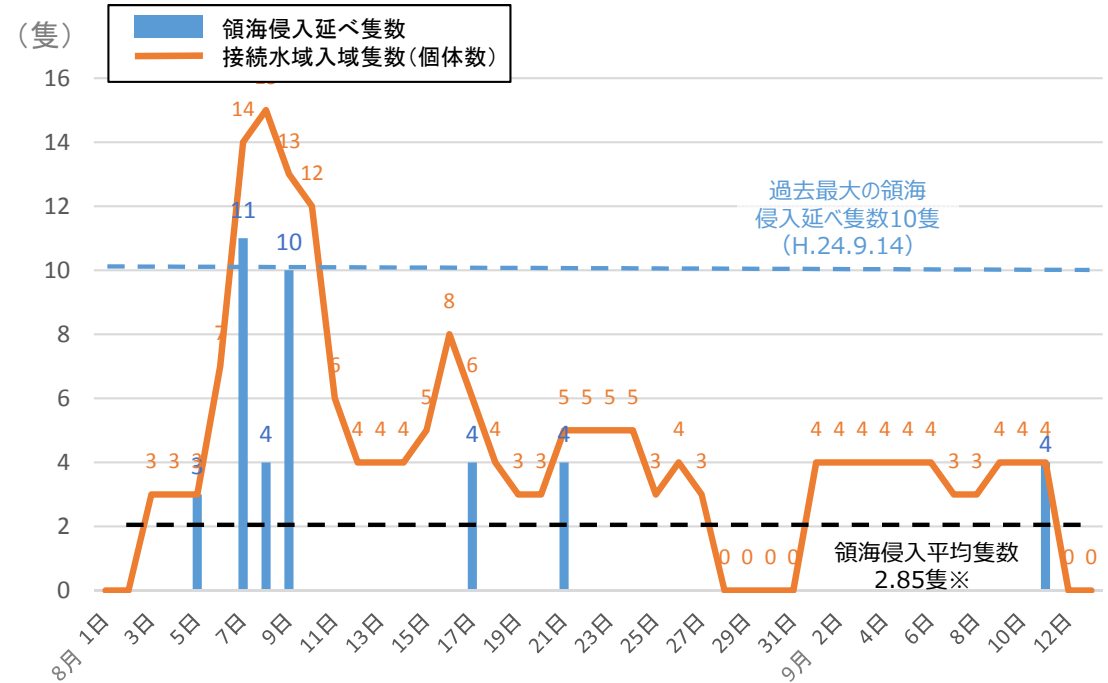
※（ ）内は中国海洋調査船等の件数



中国公船及び外国漁船のイメージ図



尖閣諸島周辺海域における中国公船の領海侵入等の状況



※平成27年8月から平成28年7月までの領海侵入時の平均隻数

【概要】

- 平成28年8月5日午後1時30分頃、中国漁船に続いて、中国公船1隻が尖閣諸島周辺領海に侵入
- 多数の外国漁船が尖閣諸島周辺の接続水域で操業するなかで、最大15隻という多数の中国公船も同じ海域に集結
※過去最大の接続水域内同時航行隻数：12隻 (H24.9.18)
- 約200~300隻の漁船が尖閣諸島周辺の接続水域で操業するなかで、多数の中国公船も同じ海域に集結し、中国漁船に続いて領海侵入を繰り返すといった事象が確認されたのは今回が初めて

【主な外交ルートでの抗議】

- 8月5日 外務事務次官 → 程永華駐日大使
- 8月9日 岸田外務大臣 → 程永華駐日大使

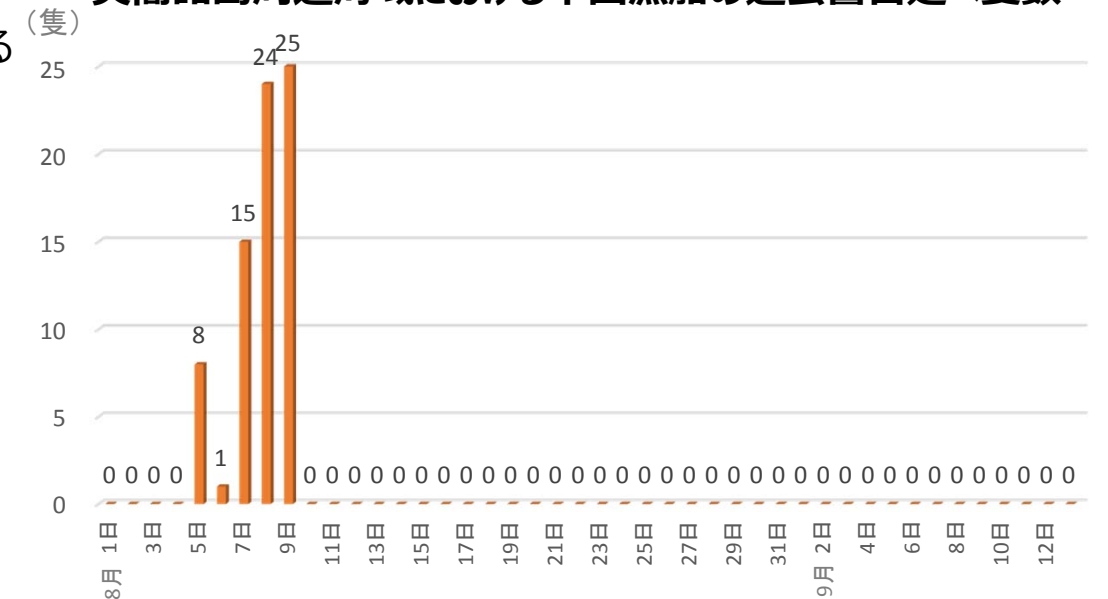


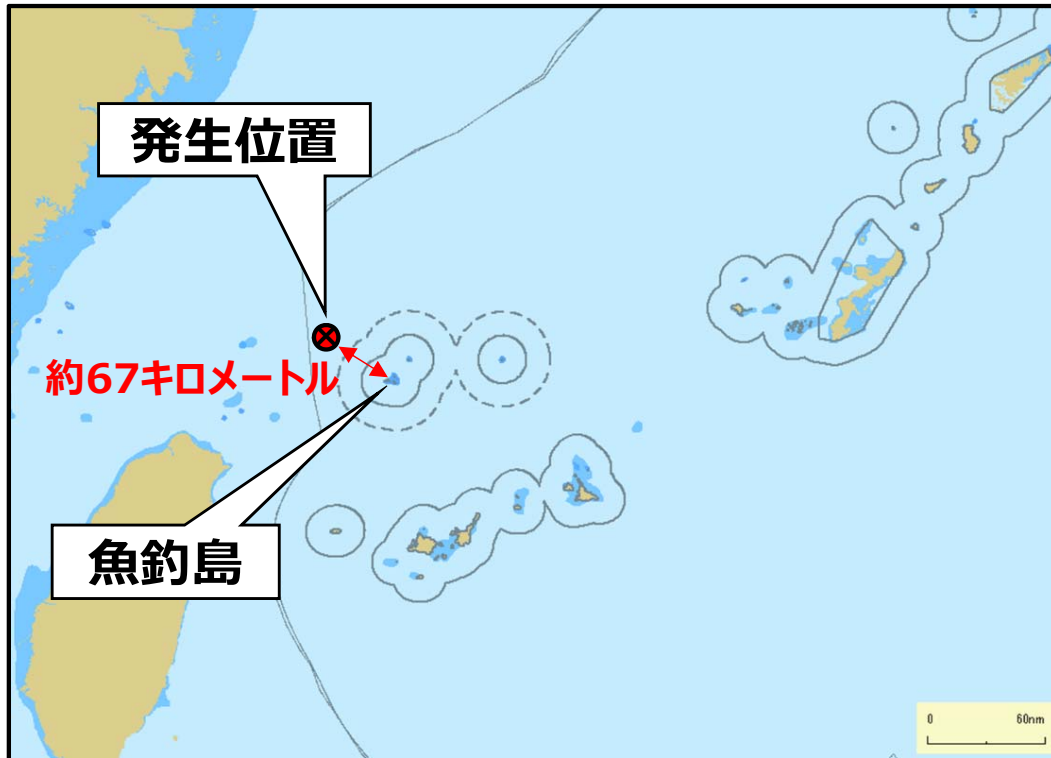
い集する漁船



中国公船と漁船

尖閣諸島周辺海域における中国漁船の退去警告延べ隻数





【概要】

- 平成28年8月11日、中国漁船『ミン晋漁05891』が、魚釣島の北西約67キロメートルの公海上でギリシャ籍貨物船『ANANGEL COURAGE』と衝突し、沈没
- 中国漁船乗組員14名のうち6名を海上保安庁巡視船が救助
- 救助した6名のうち、2名が発熱及び胸痛を訴え、その他の4名は特に異常なし
- 救助した6名を海上保安庁ヘリコプターにより、石垣島に搬送し、中国総領事側に引継ぎ
- 現場及び外交ルートにて、中国側から謝辞があった



ギリシャ籍貨物船
『ANANGEL COURAGE』



中国漁船
『ミン晋漁05891』

総トン数：106,727トン
乗組員：23名
(ギリシャ11名、フィリピン10名
ウクライナ2名)
○中国から豪向け

乗組員：14名

